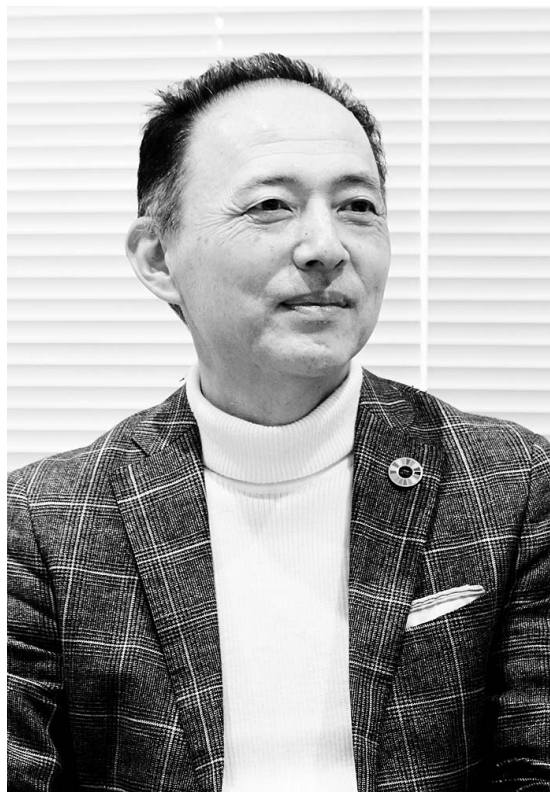


Top インタビュー

日本繊維製品品質技術センター



理事長

山中 毅 氏

【略歴】

やまなか・たけし 1984年三菱商事入社。2010年三菱商事ファッション執行役員営業第四本部長、11年イタリア三菱商事会社社長、18年QTEC理事長付参与などを経て、19年からQTEC理事長。在イタリア日本商工会議所会頭、ミラノ日本人学校理事などを歴任し、19年にイタリア共和国大統領勲章「イタリア連帯の星 カヴァリエーレ賞」を受賞

海外は成長させたいと思っていますが、「繋ぐ・繋がる」をキーワードにQTEC全体が一丸となつて、別の言い方をすると「オールQTEC」で取り組みます。互いが補完し合い、「1+1=3」を3にも4にもしていきます。QTECには約200人のナショナルスタッフが在籍し、その育成も強化します。

日本繊維製品品質技術センター（QTEC）は、2025年度（2026年3月期）を初年度とする「中期経営計画2027」を始動した。山中毅理事長は「大きな二つのテーマのもとで着実な成長を図る」と強調し、中でも海外展開に伸び代を求める。それには「ナショナルスタッフの力が欠かせない」とし、人材育成に継続して力を入れる方針だ。

対応力と機動力、柔軟性

ホームページの更新頻度を増やしています。経済産業省が定めた繊維産業における監査要求事項・評価基準「JASSTI」に関してもQTECとして分かりやすく、伝わりやすい発信を心掛けていきます。

ホームページの更新頻度を増やしています。経済産業省が定めた繊維産業における監査要求事項・評価基準「JASSTI」に関してもQTECとして分かりやすく、伝わりやすい発信を心掛けていきます。

物価高が続いているほか、トランプ関税、中国経済の動向などもあつた。中経の最終年度でもありましたが、定評面では多くの事項が達成できま

海外は成長させたいと思っていますが、「繋ぐ・繋がる」をキーワードにQTEC全体が一丸となつて、別の言い方をすると「オールQTEC」で取り組みます。互いが補完し合い、「1+1=3」を3にも4にもしていきます。QTECには約200人のナショナルスタッフが在籍し、その育成も強化します。

二つのテーマで中経推進

QTECもその三つを軸に、高度な試験技術の確立と収益アップを両輪です。QTECではキャンピングテントの認証試験を進めています。例えば、業務にも取り組んできま

QTECもその三つを軸に、高度な試験技術の確立と収益アップを両輪です。QTECではキャンピングテントの認証試験を進めています。例えば、業務にも取り組んできま

QTECもその三つを軸に、高度な試験技術の確立と収益アップを両輪です。QTECではキャンピングテントの認証試験を進めています。例えば、業務にも取り組んできま

QTECもその三つを軸に、高度な試験技術の確立と収益アップを両輪です。QTECではキャンピングテントの認証試験を進めています。例えば、業務にも取り組んできま

QTECもその三つを軸に、高度な試験技術の確立と収益アップを両輪です。QTECではキャンピングテントの認証試験を進めています。例えば、業務にも取り組んできま

QTECもその三つを軸に、高度な試験技術の確立と収益アップを両輪です。QTECではキャンピングテントの認証試験を進めています。例えば、業務にも取り組んできま

QTECもその三つを軸に、高度な試験技術の確立と収益アップを両輪です。QTECではキャンピングテントの認証試験を進めています。例えば、業務にも取り組んできま

QTECもその三つを軸に、高度な試験技術の確立と収益アップを両輪です。QTECではキャンピングテントの認証試験を進めています。例えば、業務にも取り組んできま

昭和時代の思い出

寂しさ、希望と期待

前職時代にイタリアで語学を学んだ山中さん。1年3カ月の留学を経て日本に戻ったのは、昭和が平成に切り替わる直前の1989年1月2日だった。当時のイタリアでは日本の情報に接する機会がほとんどなく、「帰国前は昭和が終わる」とは思いもしなかった」と振り返る。昭和の終焉（しゅうえん）に寂しさを感じた一方で、「語学を生かしたこれからの仕事と、新しい時代の幕開けに希望と期待を持ったことをよく覚えている」と言う。

私たちは、
まじめで、人を想い
新しいことに挑戦していく
総合試験検査機関です。

アパレル製品、生活雑貨用品、アウトドア製品、産業資材の品質を試験します。抗ウイルス試験、羽毛試験、各種機能性試験など専門性の高い試験も幅広く取り扱っております。キャンピングテントのSGマーク認証試験や、CSR監査等の監査・認証業務も実施しておりますので、お気軽にご相談ください。



一般財団法人

日本繊維製品品質技術センター

Japan Textile Products Quality and Technology Center

〒108-0023

東京都港区芝浦3-13-16 TEL:03-6631-9802

